

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について（概要）

佐久市教育委員会

＜学習状況等に関する調査（児童生徒）＞

- (1) (2) 自己肯定感、将来の夢や希望、幸せな気持ちをもつ子どもの割合が昨年度より増加
- (3) 授業で、自分で考え、自分から取り組んでいる
(小中82～83%)
- (4) 授業で、自分の考えが伝わるよう資料や文章、話の組立等を工夫して発表している (小65%、中69%)
- (5) 友だちとの話し合いを通して、自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりする (小中85%超)
- (6) 「総合」では課題設定、情報収集と整理、発表などの学習に取り組んでいる (小73%、中81%)

＜教科に関する調査＞

- (1) 国語 全国とほぼ同じ (小中)
 - ・「話すこと・聞くこと」に課題
 - ・自分の考えが伝わる文章、表現の工夫の伸長
- (2) 算数 全国をやや下回る
数学 全国とほぼ同じ
 - ・「変化と関係」[数と計算]に課題 (小)
 - ・「図形」「データの活用」に課題 (中)
 - ・求め方や理由の説明、筋道立てた思考の重視

＜学習状況等に関する調査（学校）＞

- (1) 授業・学級の問題に関わる話し合いは学級の問題についての話し合いの頻度が高い
- (2) 授業で、子どもは自分で考え、自分から取り組んでいる (小100%、中86%)
- (3) 授業で、自分の考えが伝わるよう資料や文章、話の組立等を工夫して発表している (小86%、中56%)
- (4) 「総合」では探究の過程を意識した指導を実施している (小100%、中57%)
- (5) 習得・活用、探究の学習過程を見通した指導方法の改善や工夫に取り組んでいる

(小77%、中71%)

(%は四捨五入)

児童生徒が自ら考え、主体的に行動し、課題を解決していく探究的な学びに向けて

「思考力・判断力・表現力」の育成へ

多様な個性を生かした学び合いに

＜改善の方向Ⅰ 教科学習＞

- 国語：①「話すこと・聞くこと」自分の考えをまとめたり伝えたりする表現の工夫（今回）
②説明的文章と文学的文書の調和的な取り扱い
③「読むこと」「書くこと」豊かな語彙の育成、文章の要約などを取り入れた読解力
- 算数・数学：①「変化と関係」「関数」2つの数量の関係、表・式・グラフを関連付けた理解（今回）
②「データの活用」データの整理と読み取り・判断、数学的な表現を用いた説明（今回）
③身の回りの数学的事象の教材化と筋道立て、数学的に説明・表現する活動の日常化

＜改善の方向Ⅱ 学校生活、教科学習など全体として＞

- ①その子らしさや多様な考えが尊重される人間関係、学級集団づくり
- ②子どもの主体的な学びを支える、個別最適な学び、ICT機器の活用など
- ③探究の過程を大事にした授業の推進、自分の考えを書き表したり伝え合ったりする学習の重視
- ④子どもに向き合う教師の意識や教材研究の深さ、家庭や地域との連携

＜今後の学力向上・授業改善に向けて＞

- ①自校での分析と情報共有、取組の明確化
- ②校長会で実践例や案を持ち寄り、具体を協議
- ③中学校区教育推進委員会、小中学校研究主任会による小中、中学校間連携